

コードレス マイクロホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読み、製品の安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

IFM-V10RK

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

ぬれた手でACパワーアダプターや電源プラグ、充電器にさわらない
感電の原因となります。



通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の製品に長時間ふれない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

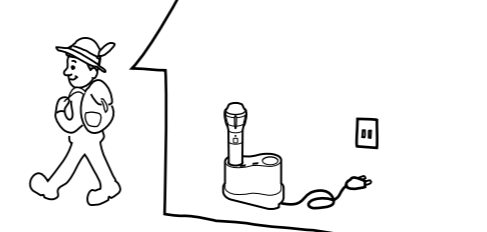


内部を開けない
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグとACパワーアダプターを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

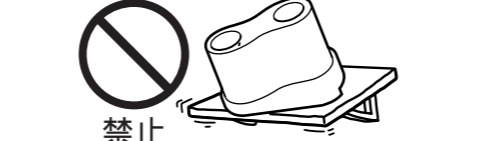


お手入れの際、電源プラグとACパワーアダプターを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけが原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



幼児の手の届かない場所に置く
けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



警告 下記の注意を守らないと、**火災・感電により大けがの原因となります。**

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



国内専用機は海外で使わない
ワールドモデル以外は、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグやACパワーアダプターに触れない
感電の原因となります。



指定以外の充電器やACパワーアダプターを使わない

破裂・液もれや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

電源コードを傷つけない

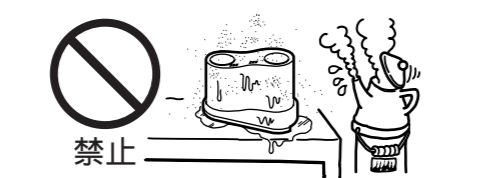
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

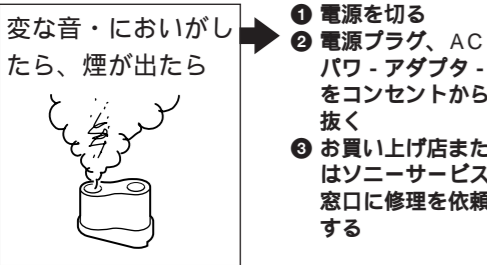
安全のための注意事項を守る
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する
1年に1度は、電源プラグまたはACパワーアダプターとコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、電源コードまたはACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずコードレスマイクロホンと赤外光レシーバー、充電器と一緒に持ちください。

万一、異常が起きたら



- 電源を切る
- 電源プラグ、ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を指示する記号
火災	プラグをコンセントから抜く
感電	
行為を禁止する記号	
禁止	分解禁止
	接触禁止

電池についての安全上のご注意

この機器はニッケル水素充電電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

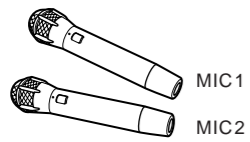
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

準備

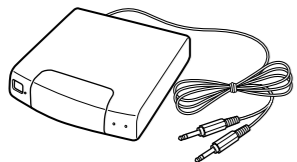
付属品を確認する

はじめに内容物の確認をしてください。

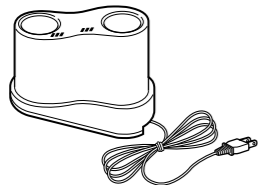
- コ・ドレスマイクロホン(2)



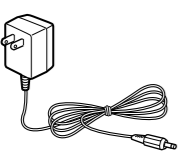
- 赤外光レーザー(1)



- 充電器(1)

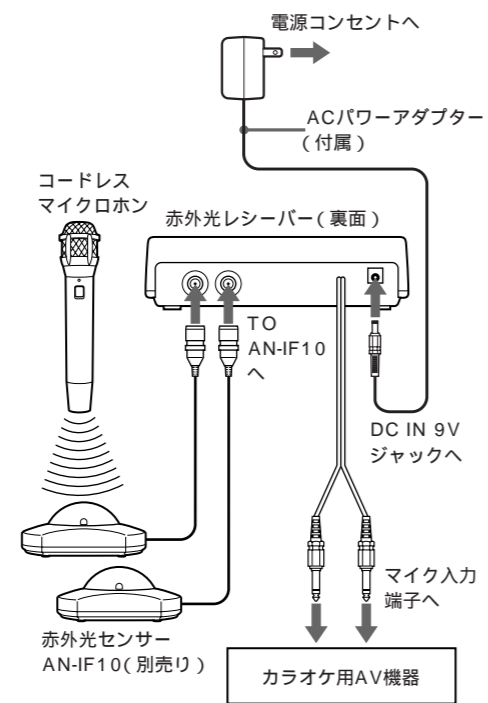


- ACパワーアダプター(1)



- 保証書(1)
- 取扱説明書(1)
- サービス窓口のご案内(1)

接続する



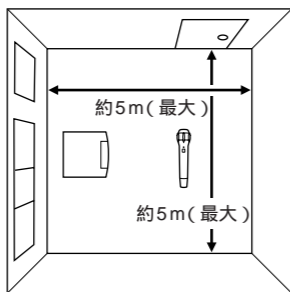
ご注意

この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



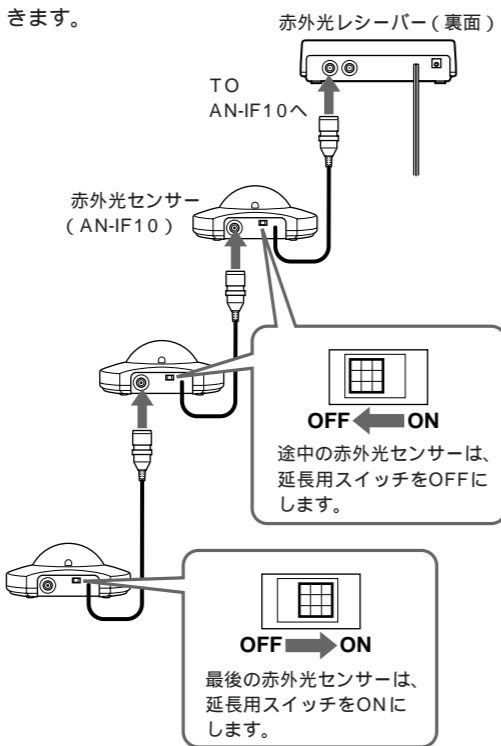
赤外光の届く範囲

コードレスマイクロホンの向きや位置にかかわらず、部屋全体を受光可能範囲にするには、図に示された広さの部屋でご使用ください。



別売りの赤外光センサーを接続する

より広い範囲でコードレスマイクロホンを使うには、別売りの赤外光センサーAN-IF10(2台1組)をお使いください。赤外光センサーは、直列で最大3個(両方のTO AN-IF10端子を使えば合計6個)まで赤外光レーザーにつなぐことができます。10m²広がるごとに1個増設すると効果的に受光できます。

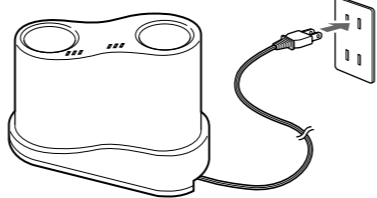


ご注意

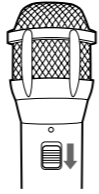
- 壁や不透明なガラスなどは、赤外光を通しません。コードレスマイクロホンは、必ず赤外光レーザーが直接見渡せる位置からご使用ください。
- 本システムは、直接光だけではなく壁からの反射光も有効に利用できます。赤外光レーザーを移動させてみて、よりよい状態になる位置に設定してください。
- 赤外光レーザーは、熱器具などの上に置かないでください。

コ・ドレスマイクロホンの内蔵充電電池を充電する

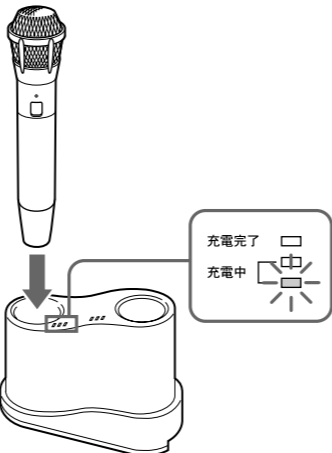
- 充電器の電源プラグをコンセントにつなぐ。



- コードレスマイクロホンのPOWER(電源)スイッチをOFFにする。



- コードレスマイクロホンを充電器に立てる。充電ランプが点灯し、充電がはじまります。



充電時間の目安と使用可能時間

点灯するランプ	点灯する時期	使用可能時間
充電中(赤)	コードレスマイクロホンを立てると点灯	
充電中(黄)	約3時間後に点灯	約6時間
充電完了(緑)	約5時間後に点灯	約11時間

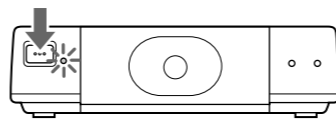
ご注意

- お買い上げ時、コ・ドレスマイクロホンの内蔵充電電池は充電されておりません。ご使用前に必ず充電してください。1回目の充電のあと使用可能時間が短いことがあります。充電電池は充電および放電を2、3回くりかえしたあと本来の特性が得られます。
- 充電中、コードレスマイクロホンおよび充電器があたたくようになりますが、故障ではありません。
- 使用可能時間が極端に短くなったら、内蔵充電電池を使いきってからもう一度充電しなおしてください。
- 内蔵のニッケル水素充電電池の寿命は約1年、500回の充電が目安ですが、使用条件により大きく変わることがあります。寿命になると使用時間が極端に短くなります。この場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 充電器のマイクロホン立ての中には、液体、金属片などの異物を入れないでください。故障の原因になります。
- マイクロホンの充電端子が汚れていると、正常に充電されない場合があります。充電端子が汚れた場合には、乾いた柔らかい布でよくふいてからお使いください。

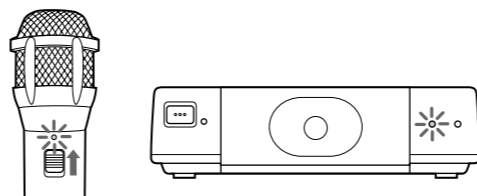
使いかた

マイクを使う

- 接続したカラオケ用AV機器の電源を入れる。
- 赤外光レーザーの電源を入れる。POWER(電源)ランプが点灯します。



- コードレスマイクロホンのPOWER(電源)スイッチをONにする。コードレスマイクロホンのPOWER(電源)ランプが点灯してから、赤外光レーザーのOPERATION(動作)ランプが点灯します。



ご注意

- コードレスマイクロホンを1本でご使用のとき、赤外光レーザーから50cm以内に近づくと、雑音が入ることがあります。
- コードレスマイクロホンの発光部や赤外光レーザー/赤外光センサーの受光部を手でおったり、また表面が汚れていると受光不良の原因になります。表面が汚れた場合は、柔らかい布でから拭きしてください。
- お使いにならないときは、コードレスマイクロホンのPOWER(電源)スイッチをOFFにしてください。
- 電池が消耗してくると、コードレスマイクロホンのPOWER(電源)ランプが暗くなり雑音が多くなってきます。このようなときは充電してください。

その他

使用上のご注意

取り扱いについて

落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

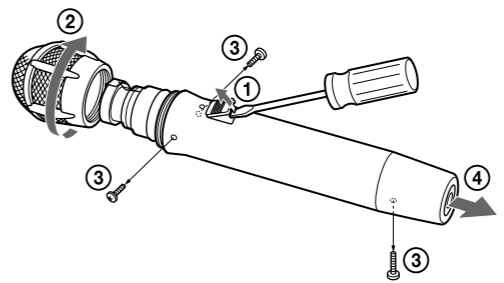
次のような場所では使わないでください

- 屋外(直射日光下)
- 太陽光やスポットライトなどの強い光があたる場所(スポットライトを消したり、窓のカーテンやブラインドを開めるとよい場合があります。)
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ(なるべく5~35の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多いところ

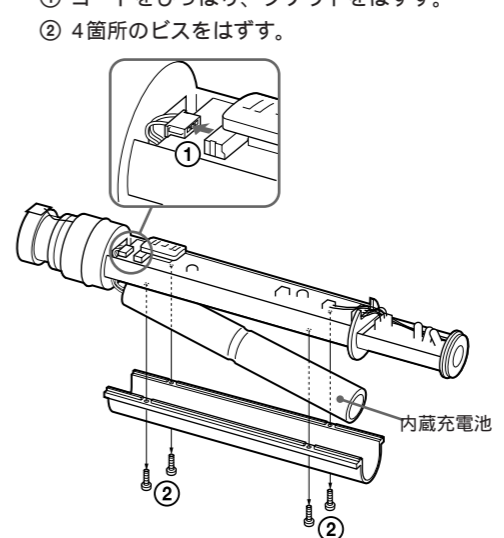
本機を廃棄するときは

環境保護のため、下記の方法で内蔵充電電池を取りはずし、適宜処理してください。

- 本体を分解する。
 - ドライバーの先などでスイッチつまみをはずす。
 - 頭部を強くねじってはまず。
 - 3箇所のビスをはずす。
 - グリップをはずす。



- 内蔵充電電池をはずす。
 - コードをひっぱり、ソケットをはずす。
 - 4箇所のビスをはずす。



故障とお考えになる前に

OPERATION(動作表示)ランプが点灯しない

- コードレスマイクロホンおよび赤外光レーザーの電源を入れる。
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 接続した機器の電源を入れる。
- 赤外光レーザー、および別売りの赤外光センサーの接続を確認する。

音が出ない

- コードレスマイクロホンおよび赤外光レーザーの電源を入れる。
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 接続した機器の電源を入れる。
- 赤外光レーザー、および別売りの赤外光センサーの接続を確認する。
- 接続した機器のマイク入力音量を上げる。
- 接続した機器とスピーカーまたはヘッドホン接続する。

スピーカーから「ピーツ」と音がする。

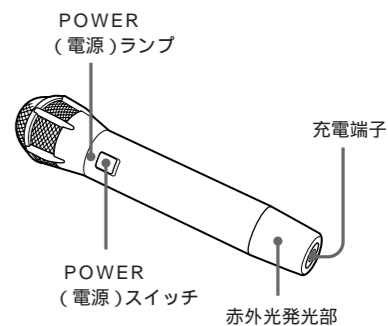
- コードレスマイクロホンとスピーカーを離すか向きを変えて使う。
- 接続した機器の音量を下げる。

雑音が多い、音がひずむ

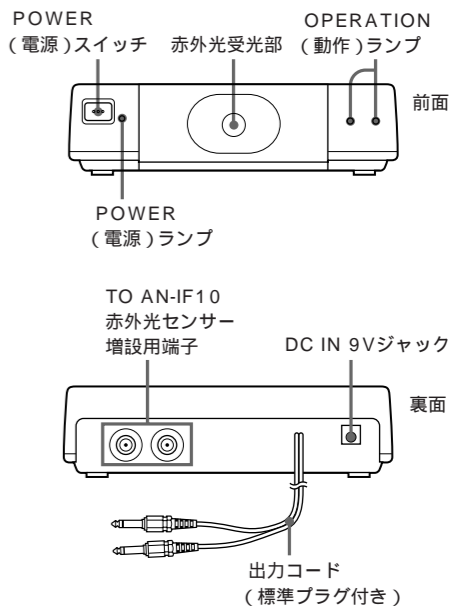
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 赤外光レーザーとコードレスマイクロホンの間にある障害物を取り除く。
- 赤外光レーザー/赤外光センサーの近くでコードレスマイクロホンを使う。
- 赤外光レーザー/赤外光センサーの位置・角度を変える。
- コードレスマイクロホンの赤外光発光部を手などでおかない。
- コードレスマイクロホンの赤外光発光部の汚れをふき取る。

各部のなまえ

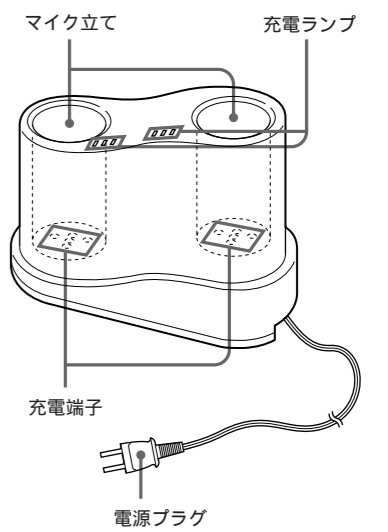
コードレスマイクロホン



赤外光レーザー



充電器



赤外光センサー(別売り)

